

学校便り

学校教育目標

知徳体の調和のとれた品性ある子の育成

—笑顔いっぱいの学校—

考えを伝え合う子・できた!わかった!と思える子 思いやりを形で表す子 目標に向かって動く子

後期学校評価の結果のお知らせ

春の兆しを感じられる頃となり、お天気のよい日には、前庭や運動場で元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られるようになりました。学校では、この大切な子どもたち一人一人が成長していけるよりよい学校にするために、児童アンケート、保護者アンケート、教員アンケートを基に学校評価を行っています。後期の結果と改善策、学校関係者評価委員の皆様からいただいたご意見をお知らせいたします。

○アンケート結果より

	重点取組	指標・評価観点	評価方法	評価結果			今後
				前期	増減	後期	
分かった!できた!と思える子	・わかる授業を工夫する。	・具体物の提示、構造的な板書等の掲示がなされている。 ・児童が姿勢を意識するようにまどめや振り返りの場を設定している。	児童アンケート	86.4% B	↗	88.6% B	授業の後半を充実させるために、既習掲示や資料を活用し、導入から5分で課題が提示できるようにしていく。 学年で教材研究に取り組むときには、学校研究に沿った手立て、児童の目指す姿などを意識していく。授業後には授業の振り返りを行い、次の授業に生かしていく。
	・根拠を明確にして説明ができる。	・グループ活動中及び前に出て、根拠を明確にして説明している。	教職員アンケート	61.9% D	↗	77.3% C	児童の発言に対して、「どうして?」「どこから?」と教師が問い返し、根拠や理由を意識させていく。児童が根拠や理由を言えた時に、教師が価値づけることで、自信をつけさせていく。
	・既習や学習用語を活用できるように掲示し、学習環境を整える。	・既習や学習用語の掲示を活用している。	教職員アンケート	80% B	↘	75.0% C	今後の学習に生かせる既習内容や学習計画を掲示することで、児童が見通しをもって学習できるようにする。児童が根拠を指し示して説明できるように掲示を工夫していく。
生徒指導(思いやりを形で表す子)	・人にやさしくする。	・「ありがとう」「ごめんなさい」を言っている。 ・友だちが嬉しくなる言葉や行動をしている。 ・友達にやさしくしている。	児童アンケート	90.8% A	↗	93.2% A	2学期から〇〇カードを玄関に掲示することで、「思いやりを形で表す」ことが具体的にどのようなことかイメージしやすくなったようである。
	・自分から目を見て笑顔で明るく声で友だちや先生や地域の方、来校者に挨拶をする。	・先生や地域の方、来校者にあいさつをしている。 ・自分から明るくあいさつしている。	教職員アンケート	90.1% A 65.4% D	↗	100.0% A 75.0% B	各担任がプレゼンを自クラスで行ったことで、教師自身の意識も高まり、それに応じて児童の気持ちも高まった。しかし11・12月に生活目標が重点が変わったことであいさつへの意識が低下したと感じている。3学期は生活委員会の取り組みとして校内休み時間に、「時間」「場所」「人」を変える様々な状況を設定し、その場に応じたあいさつができるような練習を行う。
	・時間を守る	・チャイムスタートをしている。 ・終了時刻を守っている。 ・時計を見て行動している。	児童アンケート	81.7% B	↗	82.4% B	ノーチャイムデーを設定するなど、時計を意識して行動する機会が増えたことで教師から促されなくても児童がお互いに声をかけている姿が見えた。そのことがアンケート結果からわかる。チャイムが鳴る前から「始まるぞ」という声掛けがクラス内から聞こえる場面も増えた。3学期は先生や子どもたちの振りかえりを基に、生活委員会を中心にノーチャイムデーをさらに発展させ、ノーチャイムワークに取り組みしていく。時間を意識して自分たちの行動を見つめなおしていく。
	・「おすじ掃除」をする。 ※「おすじ」おわりまで、すみずみきれいに、しゃべらずに	・必要のないことは話さずに掃除をしている。 ・自分からすみずみまで汚い所を見つけて掃除している。 ・落ちているゴミを拾っている。	児童アンケート	90.5% A	→	90.4% A	前期よりはおすじ掃除の定着が少しはかれたがまだまだ弱い。3学期は、生活委員会が代表委員会を受けてそうじへの意識を高めるために企画した取り組みの周知を全児童・全職員に図る。
	・いじめに対して、未然防止、早期発見に努め、組織的に対応する。	・子どもとの関係作りに努めている。 ・学年、チームで連携していじめ問題の解決を図っている。	教職員アンケート	87.7% B	↗	91.1% A	前期に引き続き、アンケートの聞き取りを丁寧に行ったり、日記等を通じて児童の内面を理解しようとする姿勢が見られ、それがサポート会等で共有され、高い評価になったと考えている。
	・めざす学校づくりのために具体的取組を児童から引き出す。	・笑顔いっぱいの学校につながる係・実行委員会・委員会活動をしている。	教職員アンケート	96% A	↗	100.0% A	前期では新型コロナウイルス感染予防に苦慮して何をすることも手探りだったが、地域、家庭の理解のもとにガイドラインに沿って学校行事が行えるようになり、学校生活が活発になった。それに伴い、子どもたちの肯定的評価が上がっているため、今後も新しい様式での学校生活がより良いものになるように工夫していく。
	・健康を意識した生活をおくる。	・給食を残さず食べる、規則正しい生活をおくるように指導している。 ・給食を残さない、早寝早起き朝ごはんを心がけている。 ・お子さんは食事のあいさつをし、規則正しい生活をおくっている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	91.3% A 83.8% B 85.2% B 85.2% B	↗ ↗ ↗	95.0% A 91.5% A 81.7% B 85.9% B	感染予防のための消毒や配膳方法を教師と子どもたちが共有できていたことが、安心できる給食の提供、安定した食育指導につながった。また、学校生活を続けていくことで生活も全体的に規則正しいものに近づいてきている。これらのことや委員会の啓発活動、新しい生活様式で崩れがちになりそうな生活リズムを家庭で意識して正しくしていることが肯定的評価上昇の主な原因として考えられる。今後も家庭と連携しながら児童が新しい生活様式に慣れるようにしていく。
・全力で運動する。	・体育の時間に全力で取り組めるように目標を提示している。 ・目標に向かって一生懸命体を動かしている。	教職員アンケート 児童アンケート	83.4% B 87.7% B	↗ ↗	88.9% B 90.7% A	後期に入り、感染予防対策を行なった上で体育を進めることに教師も子どもたちも対応出来てきている。また、難しい状況の中、家庭や地域の協力のもと、水泳や運動会を行なったことで目標を持つ機会を増やせた。慣れでいい加減になることがないよう気を引き締めながら、状況に応じ全力で運動を行える環境を整える。	
地域・保護者	・各種便りやホームページなどを通じて、保護者への情報発信に努める。	・各種たより(学校便り)・学年便り・保健便り・図書館便り・給食便り)を月1回出している。 ・学年便りは必ず写真を掲載している。 ・ホームページは月1回更新している。	保護者アンケート	81.9% B	↗	82.1% B	学年便りで学習の様子が伝わる写真が1枚は掲載できているか確認配付を行っていく。また児童の活動の様子を掲載した場合は、個人情報に配慮して顔写真を落とした写真を掲載していることを全保護者に周知していく。ホームページについても、今年度より新設された「保健室より」のコーナーに、お便り等が掲載できるよう働きかけていく。

○学校関係者評価委員会より

- ・コロナ禍での教育活動に苦勞したことでしょう。
- ・6年生を送る会では、苦勞した中でも成長がみられてよかった。
- ・学校経営の重点と、働き方改革の両立は難しいのではないだろうか。
- ・休校している事も関係して、不登校傾向の児童が増加してきている。
- ・PTA 活動もコロナ対応との両立を図りながら進めていきたい。
- ・様々な校内の活動を、コロナ対応と両立しながらこれからも進めていきたい。